

平成 28 年度

事業報告書

決算書

一般社団法人 静岡県発明協会

【第1号議案】

平成28年度事業報告

会員数 平成28年4月 1日現在 法人会員81 個人会員58 賛助会員7 計146
 平成29年3月31日現在 法人会員86 個人会員54 賛助会員7 計147

1. 発明の奨励に関する表彰及び展覧会

①全国発明表彰

本発明表彰は、皇室より毎年御下賜金を拝受し、そのご趣旨に沿い、発明の奨励、育成を図り、我が国の科学技術の向上と産業の発展に寄与するため、発明協会が主催し、文部科学省、経済産業省、特許庁、日本経済団体連合会、日本商工会議所、日本弁理士会及び朝日新聞社の後援を得て、全国を対象に、独創性に富む極めて優れた発明を完成された方々及び発明の指導、育成に貢献された方々等の功績を称え、表彰している。本県からは2社2件を推薦した。

平成28年度全国発明表彰式

日 時 平成28年6月15日（水）

会 場 ホテルオークラ東京 別館2階「オーチャードルーム」

②関東地方発明表彰

本表彰は、地方において優秀な発明と認められると共に、その実施効果が高く地域産業の向上に寄与された方の功績を顕彰するものである。

本年度の表彰受賞総数は175件で、うち本県関係は下記の一覧のとおり12件を推薦した。

平成28年度関東地方発明表彰式

日 時 平成28年11月10日（木）

会 場 ホテルメトロポリタン高崎（群馬県高崎市八島町222）

平成28年度関東地方発明表彰受賞者一覧

受賞名	発明の名称	受賞者名	会社名
静岡県知事賞	高性能熱交換器搭載パッケージエアコン	横関 敦彦	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
		坪江 宏明	
		松村 賢治	日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
		山田 恵美	
		佐々木 創	
		杉山 達也	
静岡県発明協会会長賞	ローリングピストン型圧縮機	服部 直隆	三菱電機エンジニアリング株式会社
		前山 英明	三菱電機株式会社
		坂本 英司	
		高橋 真一	
静岡県発明協会会長賞	快眠制御を搭載した空気調和機	長峯 基	三菱電機株式会社
		綾部 克也	
		飯島 宏一	
発明奨励賞	(小型)全自動チーズ製造装置	尾形 昭生	大生機設株式会社

発 明 奨 励 賞	天窓設置時の室内照度シミュレーション方法	鈴木 敬明	静岡県工業技術研究所
		加藤 俊文	
		古賀 靖子	九州大学大学院
		外山 勸	株式会社スカイプランニング
		小野 巳吉	
発 明 奨 励 賞	非粘着性コーティング技術	高木 誠	静岡県工業技術研究所
		真野 毅	
		田中 翔悟	
		山梨 聰	株式会社小糸製作所
		影山 裕之	
		村松 勝佳	
		池谷 誠	タイコイト・カンパニー・リミテッド
		植松 祐介	ビヨonz株式会社
		遠藤 浩久	
		田中 隆義	オーエフテクノ株式会社
発 明 奨 励 賞	軸端支持機構を備えるパレット	稲森 一成	本田技研工業株式会社
		井川 正広	
		浅香菜津与	
発 明 奨 励 賞	カウンターバランスを備えた1条式リボン混合機	脇屋 和紀	株式会社大川原製作所
		飯田 晃弘	
		松村 直樹	
発 明 奨 励 賞	業務用エアコン室内機の制御方法	吉村 潔	三菱電機株式会社
発 明 奨 励 賞	電動機の固定子、電動機および設備機器	小野 洵一	三菱電機株式会社
		竹内 康真	菱電旭テクニカ株式会社
		松田 茂	三菱電機株式会社
発 明 奨 励 賞	冷凍サイクル装置用圧縮機	渡辺 哲永	東芝キャリア株式会社
発 明 奨 励 賞	銀イオンヒートポンプ給湯機	奥田 健志	東芝キャリア株式会社
		佐藤 全秋	
		森蘭 貴洋	

2. 青少年の創造性開発及び育成

①学生児童発明くふう展・未来の科学の夢絵画展

当協会主催、静岡県・県教育委員会・関東経済産業局・（公社）発明協会・日本弁理士会・市教育委員会・県市長会・県町村会・（公財）静岡県産業振興財団、各報道機関の後援により、「第64回静岡県学生児童発明くふう展」と、第39回静岡県未来の科学の夢絵画展を開催した。

会 期 平成28年11月1日（月）～11月6日（日）（表彰式11月6日）

会 場 静岡県庁別館21階展望ロビー

ア 第64回静岡県学生児童発明くふう展

我が国の将来を担う児童生徒に、発明くふうの楽しさを体得させるとともに優れた発明くふう作品を顕彰することにより、創造性豊かな人間形成を図る。

	応募数	入選数
小学生	42点	14点
中学生	27点	14点
合計	69点	28点

上記県展で入選した作品の内から、小学生9点、中学生9点を第75回全日本学生児童発明くふう展に推薦出品し、次の方々が受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
奨励賞	NV対策 介助用T.P.ホルダーIV型	清水町立清水小学校	小5	坂田 峰明
入選	ラクラクコンセントぬき	富士市立富士南小学校	小6	平尾 和香
入選	介護用移動台車「小回り毎日ぐ〜るぐる」	富士市立吉原第二中学校	中3	池田 夢羽
入選	コピー用紙取り出し補助機	浜松市立入野中学校	中3	袴田 涼介

イ 第39回静岡県未来の科学の夢絵画展

未来の科学に関する夢を絵画として表現させるとともに優れた作品を顕彰することにより、次代を担う児童生徒の科学的な探求心と創造力の伸長を図る。

	応募数	入選数
小学生	39点	16点
中学生	4点	2点
合計	43点	18点

上記県展で受賞した18点を、全国展の第39回未来の科学の夢絵画展へ推薦し、次の方が受賞した。

受賞名	作品名	学校名	学年	氏名
文部科学大臣賞	DNAねんど	静岡市立蒲原西小学校	小3	松永 悠伽

ウ 後援

児童の創造性開発育成のため、下記に対し後援・協賛した。

- 1) 第51回富士市発明くふう展後援
- 2) 第30回島田市小中学生アイデア工作展後援
- 3) 第34回湖西発明くふう展並びに第23回湖西未来の科学の夢絵画展後援
- 4) 第38回浜松市小・中学生発明くふう展後援
- 5) 第3回三島せせらぎミニミニ水力発電コンテスト協賛

3. 知的財産権制度の普及啓発

県及び独立行政法人工業所有権情報・研修館から請負った産業財産権に関わる事業を実施し、産業財産権制度の普及啓発に努めた。

①知的財産流通促進事業（県からの受託事業）

今年度は『大手企業の開放特許による知的財産マッチング』から実施許諾契約締結の1件と共同出願契約下に新製品発表に至った1件の実績を上げることができた。

活動方針第2、第3に関しては、大手企業の開放特許マッチング崩れから県工業技術研究所の技術を金型で導入する企業が現れ、製品化を促進させる為に大学の先生を紹介することができた。また、『弁理士会の知財キャラバン』に3社を、『日本規格協会の標準化活用支援』に1

社を繋ぐことができた。

活動方針第4の「自治体特許流通CDを通すなどして、他県企業へも特許流通を試みる。」に関しては、常識の様に普及している従来品の壁を越えられず、県を跨ぐ流通はできなかった。

なお、『大学生による知財活用アイデアプレゼン大会』では、静岡県立大学の2チームを全国大会で最優秀賞、優秀賞の受賞に導くことができ、県の試験研究機関である工技研、中小家畜研、果樹研、水産研からの特許性等の相談他、県の研究成果有体物の取扱いに関する相談などにも対応した。活動項目別の実績等数値は下表のとおり。

活動項目	目標	実績	達成率	前年度実績比	参考(H27年度)
訪問企業件数	300件	317件	105.7%	101.0%	314件
来訪指導件数	64件	67件	104.7%	90.5%	74件
マッチング件数	44件	69件	156.8%	156.8%	44件
成約件数	16件	16件	100.0%	100.0%	16件
事業化件数	5件	3件	60.0%	75.0%	4件
講習／講演等	40件	44件	110.0%	88.0%	50件
合計	469件	516件	110.0%	102.8%	502件

実施体制：特許流通アドバイザー 1名

②特許マッチング事業

県内大学、研究機関、大手企業等の開放特許を会員企業や地域の中小企業に繋ぐ知財マッチング会を共催した。

ア 知的財産マッチング in 浜松

日時 平成28年7月21日(木)

会場 アクトシティ浜松

参加企業 宇宙航空研究開発機構(JAXA)、大阪ガス(株)、静岡県工業技術研究所

イ 知的財産マッチング in 静岡

日時 平成29年1月27日(金)

会場 静岡県産業経済会館

参加企業 日本電信電話(株)

ウ 知的財産マッチング in 浜松

日時 平成29年2月21日(火)

会場 アクトシティ浜松

参加企業 本田技研工業(株)、静岡県工業技術研究所

③知財総合支援窓口運營業務 INPIT（独立行政法人工業所有権情報・研修館）請負事業

中小企業等が抱える知的財産権に関する悩みや課題をワンストップで解決できる支援を行うため、知財総合支援窓口を設置した。

ア 支援の対象

中小・ベンチャー企業及び個人事業主、創業予定の個人（以下、「中小企業等」という。）を対象として実施した。

イ 実施体制

中部（本部）2名（常勤1名、非常勤1名）

東部（沼津支所）1名（常勤）

西部（浜松支所）1名（常勤）

ウ 知財専門家の活用

窓口支援担当者及び相談対応者は、中小企業等の悩みや課題を解決するため、知財専門家と共同して、窓口での相談支援や中小企業等に直接訪問して解決支援を行った。

1) 候補者の選定

知財専門家の選定にあたっては、弁理士、弁護士及び産業財産権に関する高度かつ専門的知見を有する知財 OB や中小企業診断士等、当協会が保有する人材データベースや特許庁その他支援機関が保有する人材データベースを活用し、課題解決に適した人材を選定した。

2) 活動概要

知財専門家は、窓口支援担当者・相談対応者、支援機関等と十分な打ち合わせ（課題の把握、支援先企業の状況等）を行った上で、事業活動の各段階における様々な課題に対応する解決方法等について適切な指導・助言を行い、解決支援を行った。

エ 知財アドバイザーの活用

知的財産活用企業の裾野の拡大を図るため、中小企業診断士及び企業OBを知財アドバイザーに選定し、企業を訪問することにより、知的財産活用の重要性の理解や知的財産活用の推進を図った。

オ 支援実績

項目	目標	実績	達成率	前年度実績比	参考(H27年度)
窓口相談受付	2,060件	2,514件	122.0%	109.5%	2,296件
専門家活用	270件	406件	150.4%	128.1%	317件
新規相談件数	510件	521件	102.2%	108.5%	480件
普及啓発訪問企業数	100件	119件	119.0%	63.3%	158件
顧客満足度調査結果	90.0%以上	96.8%	—	—	95.6%

カ 電子出願支援用端末機器利用実績

電子出願支援用端末機器利用実績は、56人で、1月当たり約5人が利用している。

職業別では、中小企業の利用が56人中44人(78.6%)と大部分を占めており、地域別では、電子出願支援用端末機器を設置する静岡市の利用が17人と最も多い。

キ 連携会議の開催状況

支援機関との連携強化を図るため、知財総合支援窓口運営業務支援機関連携会議を2回開催した。

会議の参加者は関東経済産業局、INPIT、静岡県、静岡市、浜松市、沼津市、(公財)静岡県産業振興財団、(公財)浜松地域イノベーション推進機構、東部地域イノベーションセンター、(公社)静岡県国際経済振興会、静岡県商工会連合会、日本貿易振興機構(ジェトロ)静岡貿易情報センター・浜松貿易情報センター、静岡県よろず支援拠点、静岡県警及び当協会から、各機関の管理者や担当者が集まり、本事業の目的を再確認し、それぞれの活動状況や共同支援の実例、課題や問題点、今後の活動方法などについて協議・検討が行われ、より一層連携強化が図られた。

(会議開催日)

第1回 平成28年 6月3日

第2回 平成28年 11月7日

ク 事業の周知、広報活動の実績

1) ホームページの整備

静岡県発明協会のトップページに「知財総合支援窓口」のバナーを設け、主な支援内容とともに、窓口担当者や支援事例の紹介をしている。また、連絡先や案内地図も表示できるようにしてあり、事業の周知に努めた。

2) 事業内容リーフレット等の作成

見開きA3のリーフレットを、合計4,000部作成、配布した。配布先は、商工会議所、商工会等の支援機関や金融機関等である。

3) 広告媒体の活用

公益財団法人静岡県産業振興財団が発行している「融資・助成金等の手引き」に知財総合支援窓口の紹介について掲載した。

地元新聞に「発明の日(4月18日)」に、知財総合支援窓口運營業務を紹介するとともに、毎月題字下に知財総合支援窓口の案内を掲載した。

4. 公報等各種情報提供

① 県内の特許公報等分類別動向調査(28.4~29.3)

区分(注1)	A	B	C	D	E	F	G	H	合計
公開特許公報	350	1,044	125	31	127	648	687	730	3,742
特許公報	218	733	85	10	73	357	430	560	2,466
登録実用新案公報	65	35	4	3	13	5	16	6	147
公表特許公報	1							2	3
再公表特許公報(注2)	36	108	30	3	4	100	52	48	381
合計	670	1,920	244	47	217	1,110	1,185	1,346	6,739

(注1) A=生活必需品. B=処理操作・運輸. C=化学及び冶金. D=繊維及び紙
E=固定構造物. F=機械工学・照明・加熱・武器・爆破. G=物理学. H=電気
(注2) PCT(国際特許協力条約)に基づく国際出願の内容を日本語で公表した公報

② 先行技術調査の奨励

特許や実用新案の出願時における事前調査並びに特許審査請求時における事前調査を奨励、実施した。

③ 特許公報類の検索・閲覧サービス

特許情報プラットフォーム(J-PlatPat)を活用した特許情報の検索・閲覧サービスを行った。

5. 知的財産権に係わる人材育成等セミナー・講演会・交流会

研究者や企業関係者等を講師に迎えた講演会を開催し、講師との交流や実践的な連携により、県内企業の知的財産権に係る啓発と利活用の促進を図った。

ア 研究会活動 「産業財産権関連実務研究部会(通称:パテント部会)」

県協会会員の産業財産権関連実務の向上を目的として、毎月第3水曜日に会員による事例発表や弁理士等による実務講演会並びに工場見学等を開催し、産業財産権に関わる実務の研鑽に努めた。

回数	月 日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月20日	(1)パテント部会年次報告 平成27年度活動報告・平成28年度事業計画、 幹事紹介 (2)勉強会 前回「判例を学ぶ」で導き出した結果発表、講評 進行：Sun Lingmu Office 鈴木 直博 氏 (3)講演 「知的財産権注目判例の解説」 講師：長島・大野・常松法律事務所 弁護士 三村 量一 氏	34名	ペガサート
第2回	5月18日	1の島 演習 「特許ことはじめ#1 発明のとらえ方入門」 進行：特許流通アドバイザー 風間 泰寛 氏	12名	ペガサート
		2の島 講座・演習 『チャレンジ 明細書-島』前編 進行：東山特許事務所 弁理士 東山 喬彦 氏	19名	
第3回	6月22日	記念講演会 「『下町ロケット』に見る知財戦略と事業戦略」 講師：弁護士法人内田・鮫島法律事務所 弁護士 鮫島正洋氏	60名	県産業経 済会館
第4回	7月20日	1の島 演習 「特許ことはじめ#2 特許調査入門研修」 進行：石垣パテントサービス 石垣 明彦 氏	24名	ペガサート
		2の島 講座・演習 『チャレンジ 明細書-島』後編 進行：東山特許事務所 弁理士 東山 喬彦 氏	20名	
第5回	9月21日	勉強会・演習 『特許調査』 進行：石垣パテントサービス 石垣 明彦 氏	23名	ペガサート
第6回	10月19日	講演会 『商標制度の概説』 講師：アリスト特許事務所 弁理士 橋本 政美 氏	20名	ペガサート
第7回	11月18日	見学会 ①(株)リコー環境事業開発センター ②トヨタ自動車東日本(株)	18名	御殿場市 裾野市
第8回	12月21日	(1)企業紹介 講師：三生医薬株式会社 研究開発本部 企画開発部 学術課 学術係 杉山 寿美 氏 (2)講演会 「まずは出願」は「まずい出願!」、誤解だらけの国 内優先権出張出願 ～国内優先を正しく理解して「まず、いい出願!」を～ 講師：居藤特許事務所 所長 弁理士 居藤 洋之 氏	28名	ペガサート
第9回	2月15日	勉強会 「特許の審査基準及びIoT関連技術の審査事例紹介」 講師：特許庁 審査第一部 調整課 藤崎 詔夫 氏	37名	ペガサート
第10回	3月15日	勉強会 特許公報以外による「公知・公用」の証明 ～どのような資料（非特許文献）なら認められるか～ 進行：(株)巴川製紙所 中村 仁 氏	26名	ペガサート

イ 知的財産活用基本セミナー「知財管理ことはじめ」

参加者のビジネスの内容、企業規模、知財への関わり程度等を考慮して、企業の現状の問題点、課題等を見つけ出し、討論形式により、その企業にふさわしい知財管理を探し出す。

回数	月 日	講演会・研究会等	参加者	会場
第1回	4月20日	「目的に応じたパテントマップの創り方～特許情報を中心としてチャレンジしてみましよう！～」 講師：石垣パテントサービス 石垣 明彦 氏	22名	ペガサート
第2回	7月20日	「事例で学ぶ パテントマップの作り方 ～競合企業の開発動向を探る～」 講師：(株)巴川製紙所 諏訪 義仁 氏	24名	ペガサート
第3回	10月19日	「他社特許への対応」 講師：Sun Lingmu Office 鈴木 直博 氏	14名	ペガサート
第4回	12月21日	「社内規程の作り方」 講師：(株)巴川製紙所 中村 仁 氏	13名	ペガサート
第5回	2月15日	「知的財産部門の役割と責任」～ある日突然、警告書が送られてきたら、あなたはどうしますか？～ 講師：(株)巴川製紙所 中村 仁 氏	13名	ペガサート

ウ 知的財産権説明会（発明推進協会への協力事業）

項 目	実施日	会場	参加者
初心者説明会	平成28年7月12日	静岡商工会議所	74名
	平成28年9月13日	アクトシティ浜松	92名
	平成28年12月8日	JR静岡駅ビル内パルシェ会議室	82名
実務者説明会	平成28年11月24日	静岡県産業経済会館	52名
	平成28年11月30日	アクトシティ浜松	32名

6. 会議等

- (1) 会計監査 平成28年5月9日 当協会
- (2) 総会 平成28年6月22日 静岡県産業経済会館
- (3) 理事会 平成28年5月20日 静岡県産業経済会館
平成28年6月22日 静岡県産業経済会館
平成28年12月5日 静岡県産業経済会館
- (4) パテント部会幹事会
平成28年4月20日 他7回
- (5) 関東地方発明表彰地方選考委員会
平成28年8月26日 ホテルメトロポリタン高崎
- (6) 関東地方発明表彰式典・関東地域発明協会会長懇談会
平成28年11月10日 ホテルメトロポリタン高崎

7. 各種情報の収集及び提供事業

- (1) ホームページによる情報発信

トップページをリニューアルするとともに、情報の随時更新、メールマガジンなどにより最新の情報を発信している。

(2)会報誌による情報発信（知財情報しずおかを発行）

平成28年6月1日 2016 VOL. 3 No. 21

平成28年9月1日 2016 VOL. 3 No. 22

平成28年12月1日 2016 VOL. 3 No. 23

平成29年3月1日 2016 VOL. 3 No. 24

(3)PR活動

全国的に会員が減少している地域発明協会が多い中、積極的なPR活動により会員の増を図った。

地元新聞に、「発明の日（4月18日）」に、知財総合支援窓口運營業務の紹介に併せ、当協会のPRを実施するとともに、毎月題字下に知財総合支援窓口の案内をする際にも当協会名を掲載した。

8. 弁理士会静岡県委員会へのオブザーバー参加

平成28年5月27日 他3回

貸借対照表

一般社団法人静岡県発明協会

平成 29年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	9,294,601	11,944,122	▲ 2,649,521
未収入金	21,353,941	15,481,412	5,872,529
流動資産合計	30,648,542	27,425,534	3,223,008
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
発明奨励等助成金	4,598,965	9,254,390	▲ 4,655,425
退職給付引当資産	5,517,254	5,134,694	382,560
特定資産合計	10,116,219	14,389,084	▲ 4,272,865
(2) その他固定資産			
敷金	134,900	0	134,900
その他特定資産合計	134,900	0	134,900
固定資産合計	10,251,119	14,389,084	▲ 4,137,965
資産合計	40,899,661	41,814,618	▲ 914,957
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	724,474	579,391	145,083
前受金	50,000	20,000	30,000
預り金	829,631	971,488	▲ 141,857
短期借入金	0	5,680,000	▲ 5,680,000
未払消費税	1,004,900	789,000	215,900
未払法人税等	1,600,000	287,200	1,312,800
流動負債合計	4,209,005	8,327,079	▲ 4,118,074
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,517,254	5,134,694	382,560
固定負債合計	5,517,254	5,134,694	382,560
負債合計	9,726,259	13,461,773	▲ 3,735,514
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
発明奨励等助成資産	4,598,965	9,254,390	▲ 4,655,425
指定正味財産合計	4,598,965	9,254,390	▲ 4,655,425
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(4,598,965)	(9,254,390)	(▲ 4,655,425)
2. 一般正味財産	26,574,437	19,098,455	7,475,982
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	31,173,402	28,352,845	2,820,557
負債及び正味財産合計	40,899,661	41,814,618	▲ 914,957

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 28年4月1日～平成 29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費	[3,392,500]	[3,242,500]	[150,000]
法人受取会費	2,567,500	2,435,000	132,500
個人受取会費	755,000	737,500	17,500
賛助会員受取会費	70,000	70,000	0
② 事業収益	[50,174,768]	[46,207,045]	[3,967,723]
発明奨励事業収益	400,000	400,000	0
情報サービス複写事業収益	79,320	80,020	▲ 700
情報サービス刊行物事業収益	95,079	100,299	▲ 5,220
都道府県受託収益	9,370,600	9,370,277	323
局受託収入・特許等活用支援事業	0	36,007,671	▲ 36,007,671
特許庁請負事業収益	263,088	248,778	14,310
情報・研修館請負事業収益	39,966,681	0	39,966,681
③ 受取発明奨励等	[4,705,425]	[5,136,673]	[▲ 431,248]
受取表彰発明奨励等	50,000	50,000	0
受取助成金振替額	4,655,425	5,086,673	▲ 431,248
④ 雑収益	[413,230]	[743,705]	[▲ 330,475]
受取利息	1,536	6,649	▲ 5,113
雑収益	411,694	737,056	▲ 325,362
経常収益計	58,685,923	55,329,923	3,356,000
(2) 経常費用			
① 事業費	[46,827,826]	[50,645,384]	[▲ 3,817,558]
発明奨励発明展事業費	2,452,443	2,132,643	319,800
発明奨励表彰式事業費	1,116,645	1,721,421	▲ 604,776
発明普及会員管理費	150,171	88,022	62,149
特許制度普及事業費	1,086,337	1,232,609	▲ 146,272
特許情報発信事業費(複写事業)	4,995	1,560	3,435
特許情報発信事業費(刊行物事業)	66,226	74,749	▲ 8,523
都道府県受託事業費	9,370,600	9,370,277	323
特許等活用支援事業	0	36,007,671	▲ 36,007,671
特許庁請負事業費	12,140	16,432	▲ 4,292
情報館・研修館請負事業費	32,568,269	0	32,568,269
② 人件費	[844,087]	[941,214]	[▲ 97,127]
給料手当	281,963	429,624	▲ 147,661
法定福利費	133,435	151,796	▲ 18,361
退職給付費用	382,560	331,650	50,910
福利厚生費	46,129	28,144	17,985
③ 事務費	[1,938,028]	[2,044,968]	[▲ 106,940]
水道光熱費	77,321	139,815	▲ 62,494
通信費	227,175	195,702	31,473
賃借料	508,860	449,820	59,040
旅費交通費	27,480	21,370	6,110
消耗品費	107,944	230,895	▲ 122,951
図書費	6,164	700	5,464
会議費	226,912	192,802	34,110
支払手数料	391,392	361,422	29,970
諸会費	64,500	64,500	0
租税公課	118,508	16,811	101,697
保守料	127,440	219,240	▲ 91,800
雑費	54,332	151,891	▲ 97,559
④ 他勘定振替	[0]	[▲ 3,030,948]	[3,030,948]
他勘定振替	0	▲ 3,030,948	3,030,948

正味財産増減計算書

一般社団法人静岡県発明協会

平成 28年4月1日～平成 29年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
経常費用計	49,609,941	50,600,618	▲ 990,677
当期経常増減額	9,075,982	4,729,305	4,346,677
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	9,075,982	4,729,305	4,346,677
法人税、住民税及び事業税	1,600,000	287,200	1,312,800
当期一般正味財産増減額	7,475,982	4,442,105	3,033,877
一般正味財産期首残高	19,098,455	14,656,350	4,442,105
一般正味財産期末残高	26,574,437	19,098,455	7,475,982
Ⅱ 指定正味財産増減の部			
① 一般正味財産への振替額	[▲ 4,655,425]	[▲ 5,086,673]	[431,248]
一般正味財産への振替額	▲ 4,655,425	▲ 5,086,673	431,248
当期指定正味財産増減額	▲ 4,655,425	▲ 5,086,673	431,248
指定正味財産期首残高	9,254,390	14,341,063	▲ 5,086,673
指定正味財産期末残高	4,598,965	9,254,390	▲ 4,655,425
Ⅲ 正味財産期末残高	31,173,402	28,352,845	2,820,557

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
該当資産無し
- (3) 固定資産の減価償却の方法
該当資産無し
- (4) 引当金の計上基準
退職給付引当金：職員の退職給付に備えるため期末時点における職員に対する退職給与の自己都合要支給額を計上
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
発明奨励等助成特定資産	9,254,390	0	4,655,425	4,598,965
退職給付引当資産	5,134,694	382,560	0	5,517,254
合 計	14,389,084	382,560	4,655,425	10,116,219

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
発明奨励等助成特定資産	4,598,965	(4,598,965)	(—)	(—)
退職給付引当資産	5,517,254	(—)	(—)	(5,517,254)
合 計	10,116,219	(4,598,965)	(0)	(5,517,254)

4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

補助金等の名称	金 額
経常収益への振替額	
特定資産取崩収入	4,655,425
合 計	4,655,425

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記2において記載している。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	5,134,694	382,560	0	0	5,517,254

財産目録

一般社団法人静岡県発明協会

平成29年3月31日現在


(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	預金	普通預金 静岡銀行 本店 静岡銀行 本店	運転資金として 源泉徴収税等	8,464,970 829,631
	未収金	静岡県 情報・研修館請負事業	知的財産流通促進事業費残額 知財総合支援窓口運営業務	1,370,600 19,983,341
流動資産合計				30,648,542
(固定資産) 特定資産	発明奨励等助成資産	静岡銀行 本店	発明奨励事業等に使用	4,598,965
	退職給付引当資産	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	5,517,254
	その他固定資産 敷金	東部(沼津支所)	沼津支所賃貸敷金	134,900
固定資産合計				10,251,119
資産合計				40,899,661
(流動負債)	未払金	静岡年金事務所 補助員 窓口担当者 (株)TOKAI他 キャノンマーケティングジャパン(株) キャノンシステム&サポート(株)	3月分社会保険料	236,211
			知財総合支援窓口運営業務人件費	104,500
			知財総合支援窓口運営業務人件費	342,000
			2月3月分プロバイダ料金等	32,400
			コピー料金	3,240
			コピー用紙	6,123
前受金	東芝テック	29年度法人会員会費	50,000	
預り金	静岡銀行 本店	源泉徴収税等	829,631	
未払消費税	静岡税務署	28年度消費税	1,004,900	
未払法人税等	静岡税務署	28年度法人税	1,600,000	
流動負債合計				4,209,005
(固定負債)	退職給付引当金	定期預金 静岡銀行 本店	職員の退職給付に備えるため、 当事業年度末における退職給付 債務に基づき引当している。	5,517,254
固定負債合計				5,517,254
負債合計				9,726,259
正味財産				31,173,402

監査報告書

平成28年度事業報告並びに正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、定款及び各規定に基づいて適正かつ正確に処理されていることを確認致しました。

平成29年5月10日

監事 石垣 明彦 

監事 中村 仁 